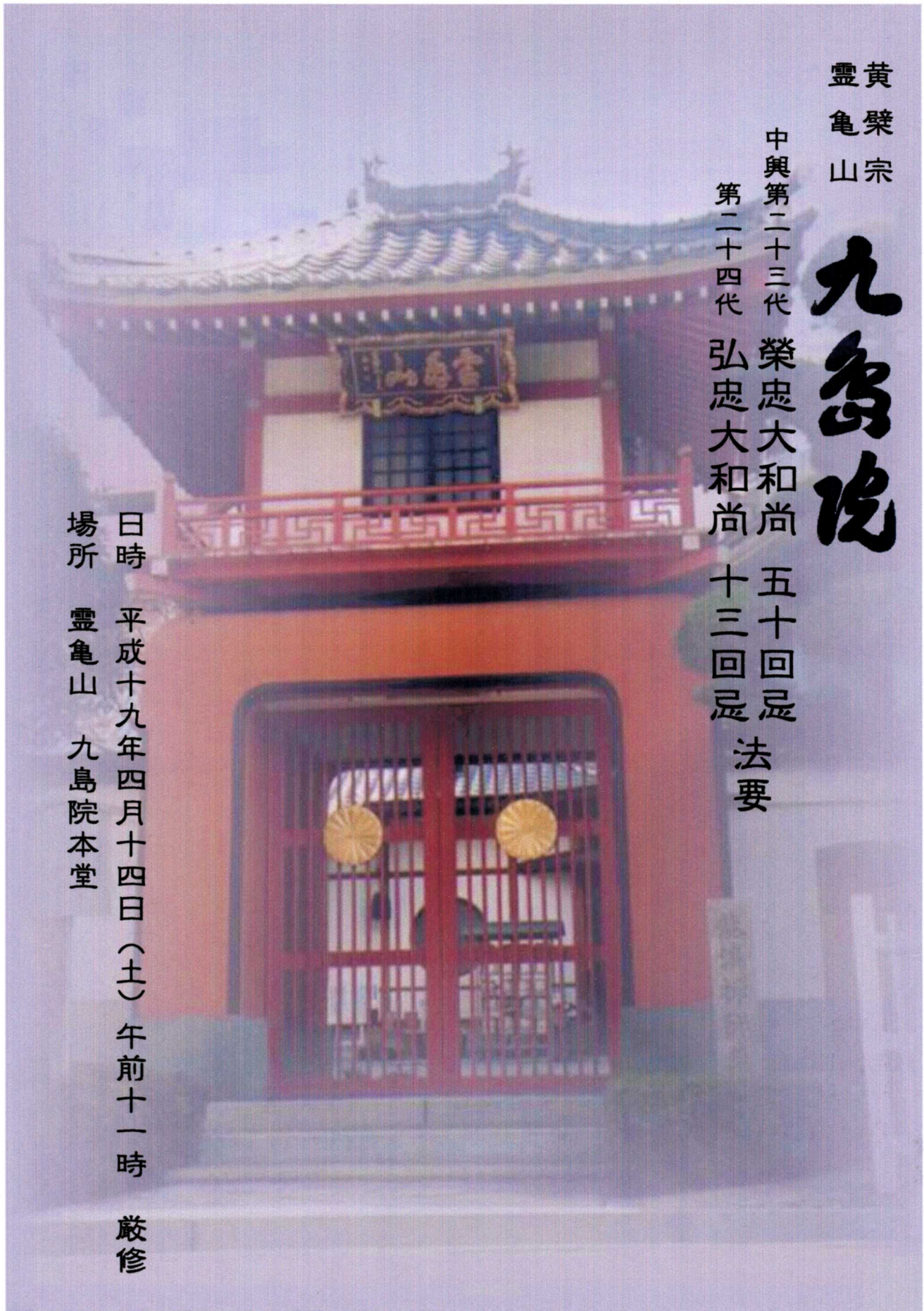


靈黃
龜榮
山宗

九島院

中興第二十三代 榮忠大和尚 五十回忌
第二十四代 弘忠大和尚 十三回忌
法要

日時 平成十九年四月十四日(土) 午前十一時 厳修
場所 靈龜山 九島院本堂



略歴

大正六年七月三日 父・榮忠、母・フサの長男として

大阪市西区本田通二丁目百番地で誕生

大正十三年 黄檗第四十九代直翁猊下の下で得度

(大阪茶白山 邦福寺にて)

昭和十二年 旧制市岡中学校 卒業

昭和十六年 大谷大学文学部仏教学科 卒業

卒業後、黄檗禅堂に一年間掛錫

昭和十七年 顕法

昭和二十年 兵役(南洋ラバウル方面)二等兵

昭和二十一年 大阪・鶴見橋の公立中学校教員

清風高校夜間部教員として勤務

昭和二十三年 榮忠和尚の常休寺への住職転任を受けて、

当院第二十四代住職拜命

昭和二十五年 本堂落慶法要並びに晋山式執行(十月二十三日)

昭和二十六年 西区仏教会長拜命(二期)

昭和三十三年 榮忠和尚の遷化を受けて

常休寺住職代務者となる(昭和四十四年)

昭和三十八年 保護司拜命

昭和三十九年 山門(朱塗りの竜宮門)を復元再興

昭和五十五年 布教師拜命

昭和五十六年 萬松院第三十代住職を兼務

平成元年 住職を引退



臨濟正宗第四十二世

当山第二十四代

弘忠和尚

(上弘下忠誓大和尚)

平成七年二月三日遷化 世寿七十七歳 在職四十一年

略歴

明治二十二年二月十日 父・榮左工門、母・リツ

愛知県中島郡稻沢で農家の次男として誕生

明治三十三年 当院第二十二代中島省己和尚の弟子となる

明治三十七年 黄檗宗普通学校入学

明治四十年 黄檗宗普通学校卒業

明治四十一年 奈良法隆寺勸学院にて仏教学を学ぶ

(同所で、曹洞宗の傑僧澤木興道老大師と親交を深める)

明治四十五年 当院第二十二代中島省己和尚引退に伴い、

晋山式執行(十一月五日)、当院第二十三代住職拜命

大正六年五月 大施餓鬼會執行 安治川薬師堂移転落慶法要

大正七年 大阪教区宗務所長拜命(二期勤める)

大正八年 開山龍溪禅師二百五十年大遠忌を執行

(黄檗第四十六代大雄猊下を拜讀)

大正十年 黄檗宗布教師大講義に補任

昭和二年 表裏の土堀改築

昭和十年 『寛文大津波 龍溪禅師水定地』記念碑建立

昭和十四年 省己和尚二十五回忌並びに一日授戒会執行

(黄檗第四十八代義道猊下を拜讀)

昭和十五年九月 大阪教区會議員当選

昭和十六年三月 司法保護委員・黄檗宗審議員拜命

昭和二十年 大東亜戦争による堂宇全焼、山門全壊

昭和二十五年十一月 本堂再建



臨濟正宗第四十一世

当山中興第二十三代

榮忠和尚

(上栄下忠儀大和尚)

昭和三十三年五月二十日遷化 世寿七十歳 在職四十五年



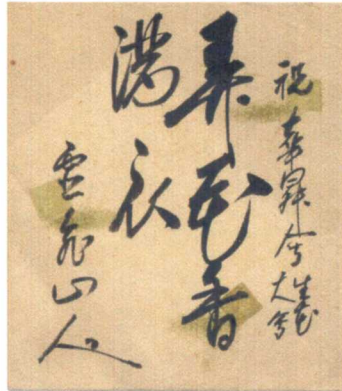
(左より 穂積・弘忠・啓知)
旧無縁塚前回向 昭和六十年 元旦

御礼

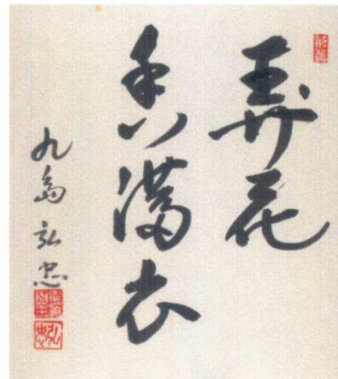
当山九島院中興第二十三代 榮忠大和尚五十回忌 並びに第二十四代 弘忠大和尚
十三回忌 に御随喜賜りまして厚く御礼申し上げます。

合掌

榮忠和尚墨蹟



弘忠和尚墨蹟



平成十九年四月十四日

大阪市西区本田三丁目四番十八号

靈龜山 九島院

第二十五代住職 奥田啓知

副住職 奥田穂積

寺族一同

羅拜

